

清水崑マンガ原画等資料 アーカイブ化事業

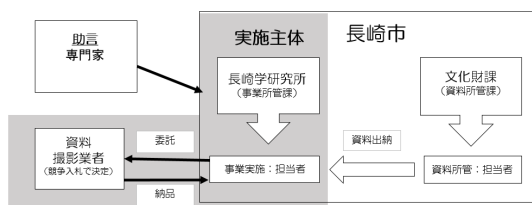
長崎市

概要／課題

現在、日本のマンガが世界的に評価を受け隆盛を極める中、大人漫画の集団である「漫画集団」について、その存在が忘れられつつある。昭和期を中心に活躍した彼らは政治漫画、著名人や演劇などのルポルタージュに本の挿絵や装丁など現在のジャーナリスト、イラストレーター、作家に類する多彩な活躍を見せている。長崎市出身の清水崑（1912～1974）は、漫画集団の代表的なマンガ家である。朝日新聞を中心に掲載した政治漫画が好評を博し、更に『かっぱ天国』に代表される、河童が人間のようなユーモアあふれる生活を送るかっぱ漫画は社会現象となり、清水崑の代名詞ともなっている。本事業では、清水崑マンガ原画等資料の撮影と目録の整理を行い、清水崑の個人研究及び普及活動に資する素材作りを行った。

体制／手法

マンガ原画等 資料撮影体制



- 資料撮影事業については、長崎学研究所が業者に撮影を業務委託し立ち合いの元で実施した。なお、資料の取扱いは長崎市の学芸員が行った。
- 博物館、美術館で撮影経験豊富なカメラマンが撮影。
- 目録類の整理作業については、長崎学研究所担当者が実施した。

成果

【成果物】

- ・ 清水崑マンガ原画等資料の高精細画像を撮影（1230件）
- ・ 清水崑マンガ原画等資料目録の追記（166件）
- ・ 長崎学研究所紀要『長崎学』第8号にて論文を掲載

【公開方法】

- ・ 清水崑マンガ原画等資料目録をHP公開
(<https://www.city.nagasaki.lg.jp/syokai/720000/724000/p040100.html>)
- ・ 紀要への論文掲載
- ・ 著作権者の承諾及び模写等許可申請を行うことで高精細画像利用が可能
- ・ 清水崑展示館の展示に活用
- ・ 長崎外国語大学との資料の教材化連携の実施

【見込まれる社会的利用】

- ・ マスコミ、研究機関からの画像利用
- ・ 清水崑の個人研究、同年代のマンガ家の研究資料として活用
- ・ 清水崑に関する講座での活用
- ・ 展示活動での利用
- ・ 政治漫画を中心として、マンガ史、近現代史を専攻する学生の教材資料として活用
- ・ 同年代の漫画家の資料を有するミュージアムとの研究連携での利用

【文化的・社会的・経済的な意義】

- ・ 清水崑マンガ原画等資料目録を公開することで、資料と利用者（マスコミ・研究者・ミュージアム関係者など）のアクセスを容易にし、資料の活用と研究の促進が図られる。
- ・ 清水崑並びに同年代のマンガ家たちのミュージアムとの研究連携が見込まれる。
- ・ マンガ史及び近現代史、長崎学に関する研究資料、教材資料としての活用を目指す。
- ・ 研究成果を基に市民向け講座などを実施し、長崎市民の清水崑の顕彰及びメディア芸術産業への理解に繋がることを期待できる。



かっぱ川太郎原画/
清水崑展示館蔵



展示に高精細画像や調査で判明した書誌情報を活用